

(様式2)

学校関係者評価報告書

愛媛県立松山南高等学校
学校番号(21)

| 評価実施日 | 令和4年2月21日(月) | | |
|-------|--------------|-----------|-------|
| 委員 | 氏名 | 所属等 | 備考 |
| | 岡田 紀夫 | 地元企業関係者 | 学校評議員 |
| | 元永 学 | 自治会等関係者 | 学校評議員 |
| | 大内由美子 | 地元企業関係者 | 学校評議員 |
| | 井上 敏憲 | 学識経験者 | 学校評議員 |
| | 中村 和憲 | 食文化・料理研究者 | 学校評議員 |
| | 鍵山 直人 | 保護者 | |
| | 田中 香織 | 保護者 | |
| | 中川 千春 | 保護者 | |

| 評価・提言等 | 提言等に対する改善方策等 |
|--|---|
| 1 全体について | |
| <p>・全日制、定時制、砥部分校、それぞれの学校が、生徒一人一人を大切に、個性・能力を伸ばさせる特色ある取組をしており、素晴らしい。これからも3つの学校が連携しながら、特色ある学校づくりを継続してもらいたい。</p> | <p>・今年度の重点努力目標として、全日制「志高く心を耕し言葉を磨け」定時制「志の教育一夢に向かって心を耕し言葉を磨け」砥部分校「夢を育み、志高く個性を伸ばす教育の推進」を掲げて活動した。今後とも、それぞれの学校の魅力を高める取組を行うとともに、オール松山南高としての雰囲気醸成できるよう連携を深めていく。</p> |
| (1) 全日制について | |
| <p>・コロナ禍において、様々な苦労があったと思うが、常にその中で、生徒のためにできることを学校一丸となって取り組んでくださったことに感謝します。生徒の皆さんが、それに応えて、大きな成果を上げ、南高生としての誇りを高めてくれたことが何よりうれしく感じる。学習面だけでなく、その活躍が年々多岐に渡っており、高校時代という人生の大切な3年間に生徒一人一人がここで自信を持ったり、自己肯定感を高めたりできることは、自分らしく生きる大きな力になる。</p> <p>・「志高く 心を耕し 言葉を磨け」の重点目標を掲げ、コロナという試練にあっても進化し続けていることに心より敬意を示します。今後もどうか生徒一人一人の輝きに対して言葉というプレゼントを送り続けてほしい。</p> | <p>・本年度、全日制は130周年を迎え、限られた中での記念行事等を行った。このような伝統を感じながら、校訓「自らを律せよ」のもと、生徒一人一人が高いレベルの文武両道を目指して良く努力した。</p> <p>・悩みを抱え、不登校傾向となった生徒が昨年に比べ増えたが、担任、学年主任、スクールライフアドバイザー、臨床心理士が連携し、教育相談を充実させ、別室登校や教室に復帰できる生徒も出てきた。今後は、生徒たちの悩みに早期対応ができるよう、細やかな面接等を充実させていきたい。</p> <p>・「言葉を磨け」の意味を理解させ、人間関係を修復する際に必要な「言葉の力」の偉大さを実感させたい。そして、高校時代に多くの人間関係修復経験をさせ、自らの人間性を高めさせたい。</p> |

| | |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・全日制は、スーパーサイエンスハイスクール5期21年間の先進的な取組が素晴らしい。「北海道大学海の宝大賞最優秀賞」「文部科学大臣優秀教員表彰」の受賞おめでとうございます。また、コロナ禍においても、多くの生徒が部活動で高いレベルの文武両道を目指してよく頑張っている。特に、伝統のダンス部、登山部、ホッケー部の活躍は見事である。 | <ul style="list-style-type: none"> ・本校はSSH先導的改革型の指定を受け、全国のリーディング校として、STEAM教育を核とし、教科横断型授業、産学と連携したデータサイエンス、国際共同研究等に取り組んでいるが、今後も多くのコンテストに挑戦させていきたい。 ・部活動においては、今後も、限られた敷地、限られた時間の中で創意工夫しながら取り組み、その中でも結果を出していく伝統をつないでいきたい。 |
| (2) 定時制について | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・定時制の卒業生の進路において、進学率が高くなっており、生徒一人一人への細やかな指導が素晴らしい。他校の定時制との連携を深め、時代にあった定時制を目指してほしい。 ・生徒の大多数が充実感を持って学校生活を送っていることが何より素晴らしく、先生方が一人一人に寄り添い指導している賜物だと思う。様々な学びや体験を通して自分の道を見つけること、自分らしさを見つけることが高校時代の大きな時間だとすれば、そうして充実感を持てるということはその種が育てられ、成長を実感できるということであり、本当にうれしく思う。 ・コロナ禍が落ち着けば、また、オール松山南の連携を通じて、定時制のその素晴らしい輝きがますます南高全体を輝かせると思う。松山南定時制という未来を拓く進路があることをもっともっと知ってほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・少人数ならではの細やかな指導の結果が出ている。定時制のこのような魅力をより効果的に伝える方法を検討したい。 ・定時制の取組について御理解をいただき、感謝します。定時制という場で、新しいスタートを多くの生徒がきれるように、その環境づくりに教職員が一丸となって取り組んでいきたい。 ・全日制、定時制、砥部分校、それぞれ異なった目標や生活環境の異なる生徒が交流することは、それぞれの学校の特色を理解するうえで、重要と考える。来年度は、オール松山南の取組を一つでも多く行っていきたい。 |
| (3) 砥部分校について | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・砥部分校は、各種コンクールでの活躍が素晴らしい。今後も時代の要請があり続けると思うので頑張りたい。なかなか行事などに向うことができず残念である。人数の少ない学校なので、外部の方との接点や直接感想が聞ける機会は大切だと思う。来年は、運動会、文化祭、楽しみにしています。 ・砥部分校は、行事等、制限された中でも生徒は楽しそうに学校生活を送っていた。先生方もいつも子どもたちを気にかけてくれてありがたかったです。小さなコミュニティならではの校風だと思う。分校から、「自由な学校」広がるとよいと思う。 | <ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍で、各種学校行事を見ていただくことができず、残念である。来年度こそは、保護者の皆様や地域の皆様に、生徒の多くの活動を見ていただき、砥部分校の魅力をより実感していただくとともに、公開の場で活躍することで、生徒自身がより充実感や達成感を感じることができればと考える。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・自己表現をすることが誰かの役に立つということは、自己肯定感を高める最高のアウトプットであると思う。一人一人の個性、才能の種を伸ばし、高校3年間の様々なアウトプットにより、自信を高め、やがてそれを自らの愛で使える人になる、それは人生を幸せにするとても大切な鍵と思う。 ・コロナ禍でオール松山南の連携が予定通りにできていないと思うが、お互いの特色の融合は、南高を巣立った後に大きな力になると思う。どうか、これからも素晴らしい表現を生み出してってください。 | <ul style="list-style-type: none"> ・生徒が行う創作活動でつくった作品は、多くの人の心を癒したり、創造力を高めたりするなど、大きな影響力がある。創作活動の中で、生徒は多くの困難や挫折感を味わいながらもそれを乗り越え、成長している。こういった作品は全日制や定時制の生徒の心を大きく動かすと思うので、来年度は、オール松山南の取組を一つでも多く行いたい。 |

| | |
|---|--|
| <p>2 自己評価の項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日制の自己評価中の出席率について、コロナの影響もあり目標達成できなかったようであるが、このような状態はいつでも起こりうることなので目標数値の検討をしたらどうか。 ・定時制の自己評価中の「キャリア教育の充実による離職率の低下」について、離職率の低下と講演会の開催回数は関連がないと考えるが、どうか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・現在、出席率99%以上を目標としているが、適切なアドバイスをいただいたので、数値目標の検討をしたい。 ・離職率と関係がより深いと考える項目について調べていくようにしたい。 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・定時制の自己評価やアンケートにおいて、特別に心配する数字は出ていないので学校教育、生活については安心していいと思う。 ・砥部分校の自己評価中の「進学指導の充実」について、共通テスト対策に時間が多くなり、実技指導が不足していたとのことであったが、具体的な改善方策が必要と考える。 ・全日制では「出席率」、砥部分校では「皆勤者率」としているが、特に必要がなければオール南校の観点からも同じにしてよいのではないか。 | <ul style="list-style-type: none"> ・定時制の教育活動は、充実してきているが、今後も生徒一人一人の個性・能力の伸長を図る指導を行っていききたい。 ・進学指導の充実において、共通テストのための教科指導と実技指導のバランスを考えた指導計画を立てていききたい。 ・「出席率」「皆勤者率」等、同じような内容を示す言葉については、今後検討し、外部の方に分かりやすいようにしていきたい。 |
| <p>3 学校評価アンケートについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日制の学校評価アンケートの総評で「低い」とされている項目においても、十分に評価は高く、ほぼ、全てで「高い」評価を得ている。アンケート項目の基本的な生活習慣については「南高手帳を活用するなど」という例示に引っ張られて「そう思う」とは答えにくいかもしれない。この例示を削除して質問すると高い結果になるかもしれない。 ・砥部分校において、生徒評価、保護者評価、ともに授業について満足しており、良い評価である。進学においても、美術系の進学が多くて素晴らしいが、さらに多くの進学を目指してほしい。部活動についても多くの生徒が加入していて素晴らしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの文章表現を変えることで、アンケート結果が大きく変わるのではないかとアドバイスいただいたので、来年度は、質問方法を改善したい。 ・生徒や保護者から高い評価を得ているが、その魅力を多くの中学生や学校関係者に伝える努力を継続して行っていききたい。 |
| <p>4 その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全日制の生徒が自転車で加害者となった事故が1件あるが、大変残念である。 ・定時制の生徒数が減少傾向となっており、気がかりである。 ・砥部分校において、男性の比率が女性の比率に比較して極端に少ないのが気になる。時代の流れか、その点を研究してほしい。 | <ul style="list-style-type: none"> ・新生が通学路に慣れない中で、接触事故が発生した。時間や心に余裕を持った通学や交通マナーの遵守を今後とも指導していききたい。 ・定時制の生徒数は、やや減少傾向ではあるが、県内の定時制の中では最も多い生徒数である。中学校訪問や体験入学等をさらに充実させ、定時制の良さを多くの人に伝えていきたい。 ・女子生徒の割合が圧倒的に多いが、強い志を持って砥部分校に進学する男子生徒もいるので、それらの生徒を核に魅力を伝えていきたい。 |